

平成30年2月19日
九州電力株式会社

『再生可能エネルギーの固定価格買取制度』 に基づく出力制御指示に関する報告

当社は、電力の安定供給確保の観点から、火力機抑制などの回避措置を行ったとしても、電気の供給量（発電出力合計）が、その需要量（エリア需要予想）を上回ることが見込まれたことから、出力制御必要量を満たす自然変動電源事業者さまに対して、以下の内容で、出力制御指示を行いました。

[kW]			
指 示 日 時	平成30年2月16日（金） 16 時 44 分		
対 象 エ リ ア	九州エリア 種子島		
出力制御期間	平成30年2月17日（土） 09時00分～16時00分		
出力制御指示 を行った出力 の 合 計	最大余剰電力発生時刻	13時	
	出力制御必要量	2,530	
	制御設備量※	3,390	
最大余剰電力 発 生 時 点 の 予 想 需 給 状 況	エリア需要予想		17,500
	発電出力合計		20,030
	内 訳	水力	—
		火力 （内燃力機最低出力）	9,000
		自然変動電源	11,030
		その他	—
その他	—————		

※出力制御指示を行った自然変動電源事業者さまの制御設備量の合計値

以 上

『再生可能エネルギーの固定価格買取制度』
に基づく出力制御指示に関する報告

当社は、電力の安定供給確保の観点から、火力機抑制などの回避措置を行ったとしても、電気の供給量（発電出力合計）が、その需要量（エリア需要予想）を上回ることが見込まれたことから、出力制御必要量を満たす自然変動電源事業者さまに対して、以下の内容で、出力制御指示を行いました。

[kW]			
指 示 日 時	平成30年2月17日（土） 15 時 56 分		
対 象 エ リ ア	九州エリア 種子島		
出力制御期間	平成30年2月18日（日） 09時00分～16時00分		
出力制御指示 を行った出力 の 合 計	最大余剰電力発生時刻	14時	
	出力制御必要量	1,670	
	制御設備量※	2,586	
最大余剰電力 発 生 時 点 の 予 想 需 給 状 況	エリア需要予想		14,700
	発電出力合計		16,370
	内 訳	水力	—
		火力 （内燃力機最低出力）	8,250
		自然変動電源	8,120
		その他	—
その他	—————		

※出力制御指示を行った自然変動電源事業者さまの制御設備量の合計値

『再生可能エネルギーの固定価格買取制度』
に基づく出力制御指示に関する報告

当社は、電力の安定供給確保の観点から、火力機抑制などの回避措置を行ったとしても、電気の供給量（発電出力合計）が、その需要量（エリア需要予想）を上回ることが見込まれたことから、出力制御必要量を満たす自然変動電源事業者さまに対して、以下の内容で、出力制御指示を行いました。

[kW]			
指 示 日 時	平成30年2月22日（木） 16 時 01 分		
対 象 エ リ ア	九州エリア 種子島		
出力制御期間	平成30年2月23日（金） 09時00分～16時00分		
出力制御指示 を行った出力 の 合 計	最大余剰電力発生時刻	13時	
	出力制御必要量	1,890	
	制御設備量※	2,544	
最大余剰電力 発 生 時 点 の 予想需給状況	エリア需要予想		19,200
	発電出力合計		21,090
	内 訳	水力	—
		火力 （内燃力機最低出力）	9,750
		自然変動電源	11,340
		その他	—
その他	_____		

※出力制御指示を行った自然変動電源事業者さまの制御設備量の合計値

『再生可能エネルギーの固定価格買取制度』
に基づく出力制御指示に関する報告

当社は、電力の安定供給確保の観点から、火力機抑制などの回避措置を行ったとしても、電気の供給量（発電出力合計）が、その需要量（エリア需要予想）を上回ることが見込まれたことから、出力制御必要量を満たす自然変動電源事業者さまに対して、以下の内容で、出力制御指示を行いました。

[kW]			
指 示 日 時	平成30年2月25日（日） 15 時 58 分		
対 象 エ リ ア	九州エリア 種子島		
出力制御期間	平成30年2月26日（月） 09時00分～16時00分		
出力制御指示 を行った出力 の 合 計	最大余剰電力発生時刻	13時	
	出力制御必要量	2,370	
	制御設備量※	4,390	
最大余剰電力 発 生 時 点 の 予想需給状況	エリア需要予想		18,100
	発電出力合計		20,470
	内 訳	水力	—
		火力 （内燃力機最低出力）	10,500
		自然変動電源	9,970
		その他	—
その他	_____		

※出力制御指示を行った自然変動電源事業者さまの制御設備量の合計値

『再生可能エネルギーの固定価格買取制度』
に基づく出力制御指示に関する報告

当社は、電力の安定供給確保の観点から、火力機抑制などの回避措置を行ったとしても、電気の供給量（発電出力合計）が、その需要量（エリア需要予想）を上回ることが見込まれたことから、出力制御必要量を満たす自然変動電源事業者さまに対して、以下の内容で、出力制御指示を行いました。

[kW]			
指 示 日 時	平成30年2月26日（月） 16 時 11 分		
対 象 エ リ ア	九州エリア 種子島		
出力制御期間	平成30年2月27日（火） 09時00分～16時00分		
出力制御指示 を行った出力 の 合 計	最大余剰電力発生時刻	13時	
	出力制御必要量	880	
	制御設備量※	1,586	
最大余剰電力 発 生 時 点 の 予想需給状況	エリア需要予想		18,200
	発電出力合計		19,080
	内 訳	水力	—
		火力 （内燃力機最低出力）	10,500
		自然変動電源	8,580
		その他	—
その他	—————		

※出力制御指示を行った自然変動電源事業者さまの制御設備量の合計値